



# 寺子屋だより

一般社団法人寺子屋いづみ

2019, 10

お彼岸を過ぎてもいつまでも暑く、秋雨前線も上がれず、本当に気候変動を感じます。

先日の台風15号で被災された方達へ少しでも支援を届けようと、友人の上野久美子さんが立ち上げた「台風15号義援金、アガベベネゼエラプロジェクト」を寺子屋も応援しています。上野さんの南房総の家の庭に1000個以上もの芽を出した多肉植物のアガベベネゼエラの苗を1鉢500円だ販売いたします。売り上げの全額がNPO法人南房総リパブリックさんへ託され、今回は被害農家さんへの支援になります。寺子屋で販売しておりますのでご支援よろしく願いいたします。

\*\*\*\*\*

\* 中間テストお疲れ様でした。学校の提出物は少なくとも3日前までには完成させて、できていないところ、わからないところを前日にやり直すような計画をぜひ立ててください。

\* 今月の「持ち寄り café」は、夜の21時から23時までの時間に開きます。10月9日(水)です。普段昼間の時間に来れない方もぜひご参加ください。お申し込み承ります！！

\* 子ども食堂は10月30日(水)になります。18時から区民センターで授業を行います。

\* 欠席、遅刻のご連絡はLINEではなく直接お電話でお願いします。

教室電話 (不在の場合は留守電にお願いします。)

03-6314-4421

\*\*\*\*\*



コラム

最近思うこと

岩岡いづみ

毎月行っている子ども食堂もだいぶ地域に定着してきました。

現在世田谷には50箇所の子どもの食堂があります。

貧困というキーワードではなく、「みんなでご飯を楽しく食べる場所」としてコミュニティ食堂になっていますがもう一つの役割としては地域のぷらっとホームになりつつあることです。

2年近く活動を重ねることで、ボランティアさんが集ってくださるようになり、現在寺子屋には20名ほどの方が登録してくださっています。

ボランティアさんの中から「もう少し今の子ども達の現状を知りたい」と先日は勉強会が開かれました。

淑徳大学福祉学科の山下興一郎先生にご講義いただき、13名のボランティアさんと「子どもと向き合う」をテーマに学習しました。

現在寺子屋は、世田谷区の「子ども、若者部」の取り組む子ども政策の3つの柱のうちの2つの事業をしています。

一つは子ども食堂、もう一つは土曜日に行われている無料の学習支援「セタゼミ」です。

性質上、区の広報などでは知られていませんが、10名ほどのボランティアさんが登録してくださっており、一時間が自習、一時間を簡単な食育やコミュニケーション活動の時間にあてています。

子ども食堂やセタゼミに取り組むことで地域の輪の広がりに力を加えられればと思います。

災害が起こりやすくなり、緊急時を想定して日々暮らすなど、私たちの不安は以前よりまっています。こんな時だからこそ、人の力が必要です。

学ぶことへ取り組む子ども達の顔、子ども食堂で見ることのできる笑顔、ボランティアさんからの愛情の眼差し。

そんな風景がこれからますます大事になっていくと思います。